

令和2年度公益財団法人山梨県青少年協会 事業報告書  
事業報告

**事業概要**

「青少年に活動、研修、交流の場を提供することにより、豊かな感性と創造性を育み、心身ともに健全な青少年の育成を図ること」を目的としており、この目的を達成するため、山梨県から指定管理者として指定を受けている4施設の管理運営を行うとともに、これらの施設等において、「青少年の自然体験、生活体験、奉仕体験などの体験活動を推進する事業」、「子どもや親子の自由な遊びやふれあいを促進する事業」、「青少年の文化、教養、スポーツ活動を促進する事業」等を展開した。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館、臨時休所及び事業実施の制限を行い、例年に比べ施設利用者、事業参加者とも大幅な減となった。

**職員の状況**

施設名	区分	2年度	元年度	増減
青少年協会	常勤役員	1	1	0
青少年センター	協会常勤職員	8	8	0
	契約職員	5	5	0
	計	13	13	0
愛宕山こどもの国・ 少年自然の家	協会常勤職員	8	8	0
	契約職員	3	3	0
	計	11	11	0
八ヶ岳少年自然の家	協会常勤職員	7	7	0
	契約職員	3	3	0
	計	10	10	0
合計	常勤役員	1	1	0
	協会常勤職員	23	23	0
	契約職員	11	11	0
	計	35	35	0

## 事業実施状況

### I 法人会計 協会の運営

- 1 理事会等の運営、理事会、評議員会等の諸会議を開催し事業を推進した。
- 2 本協会が実施する事業推進のため、集中経理によるコスト節減や自主財源の確保に努めた。

#### 理事会議決事項

回数	開催年月日	議決事項
第1回	令和2年 4月 1日	1 業務執行理事(専務理事)選定の件
第2回	令和2年 4月20日	1 第1回評議員会開催の件
第3回	令和2年 5月25日	1 令和元年度事業報告の件 2 令和元年度収支決算の件 3 令和2年度定時評議員会開催の件 4 規程改正の件
第4回	令和2年 6月 9日	1 代表理事の選任の件
第5回	令和2年 10月27日	1 規程改正の件
第6回	令和3年 3月16日	1 令和3年度事業計画の件 2 令和3年度収支予算の件 3 令和2年度第3回評議員会開催の件

#### 評議員会議決事項

回数	開催年月日	議決事項
第1回	令和2年 5月 1日	1 理事の補充選任の件
定時	令和2年 6月 9日	1 評議員の補充選任の件 2 令和元年度収支決算の件 3 理事及び監事の補充選任の件
第3回	令和3年 3月 23日	1 評議員の補充選任の件 2 令和3年度事業計画の件 3 令和3年度収支予算の件

### II 公益目的事業会計 施設管理運営

#### 施設利用状況

施設名	2年度(人)	元年度(人)	前年対比
青少年センター	99,196	175,834	△76,638 (△43.6%)
愛宕山こどもの国	114,958	201,065	△86,107 (△42.8%)
愛宕山少年自然の家	2,470	12,889	△10,419 (△80.8%)
八ヶ岳少年自然の家	14,621	37,282	△22,661 (△60.8%)
合計	231,245	427,070	△195,825 (△45.9%)

主催事業及び自主事業集計表

施設名	2年度 (人)	元年度 (人)	増 減
	実施事業数(予定)	事業数(件)	事業数(件)
	参加者数(人)	参加者数(人)	参加者数(人)
青少年センター	22 (33)	32	△10 (△31.3%)
	654	3,998	△3,344 (△83.6%)
愛宕山こどもの国	11(15)	16	△5 (△31.3%)
	1,358	46,092	△44,734 (△97.1%)
愛宕山少年自然の家	11(12)	12	△1 (△8.3%)
	308	444	△136 (△ 30.6%)
八ヶ岳少年自然の家	9(26)	26	△17 (△65.4%)
	1,461	4,085	△2,624 (△64.2%)
合 計	53 (86)	86	△33 (△38.4%)
	3,781	54,619	△50,838 (△93.1%)

1 県立青少年センター管理運営事業

青少年センターの設置目的である「青少年に活動、研修、交流の場を提供することにより、豊かな感性と創造性を育み、心身ともに健全な青少年育成を図ること」を達成するために、利用者にとって快適な利用環境を常に保てるような施設管理・運営を行うと同時に、「各種のスポーツ教室や文化教養を高める事業」、「様々な体験活動を行える事業」、「相談支援事業」を提供して、健全な青少年の育成を図った。また、新型コロナウイルス感染予防のための施設整備やガイドラインを作成したものの、利用の制限や主催・自主事業の中止などにより、大幅な利用者減となった。

施設利用者 99,196 人(前年度 175,834 人)

(1) 快適な利用環境を整備し、利用者サービスを向上

安全で快適な活動、研修、交流の場を提供するため、毎日の巡回点検を基本に、週1回の環境整備、休館日を利用しての一斉点検・整備、専門業者によるメンテナンスを実施した。

(2) 積極的な広報活動

広報検討会を毎月開催し、従来から活用しているホームページの更新やツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービスを活用し、身近な情報発信に努めた。

(3) 主催・自主事業の充実

現代的課題でもある、青少年のさまざまな悩みに対する相談支援や、地域の小学生の放課後学習や、県内全域で行っている「青少年育成山梨県民会議」事業等、青少年の健全育成を図るための事業を新型コロナウイルス感染予防の徹底を図り実施した。

青少年センター主催事業実施状況

(単位 人)

事業名	主な内容	実施時期・回数	参加者数
敬老の日グラウンドゴルフ大会(地域交流事業)	祖父母、父母およびその子どもたちなどのグループでグラウンドゴルフを楽しむことで、3世代交流の場になるとともに、地域の交流を深める機会とする予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 9月 1回	
地域防災教室(地域交流事業)	地震や台風などの災害に対する知識や、近隣住民の方々へより具体的な避難方法などを指導することで、地域一体となった防災意識の向上を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 12月 1回	
地域子育てコミュニティ(地域交流事業)	子育て中の父母を対象にセンターに集うイベントを開催し、新たな子育てコミュニティを形成し、地域で互いに子育てをサポートできる環境を醸成する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 11月 1回	
昔あそび大会(地域交流事業)	地域のシニア層が子どもたちに昔あそびの指導をすることで、伝承遊びについて理解を深めるとともに、シニア層と子どもたちの交流をきっかけに、地域の防犯コミュニティの形成を促す機会とする予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 1月 1回	
居場所づくり	本館2階のスペースを活用し、誰もが安心して交流できる「居場所スペース」を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用不可とした。	中止 通年 随時	
青少年センターボランティア推進事業	各種事業におけるボランティアの方々の活動支援及びボランティア活動に関する案内を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアを必要とする事業の多くが中止となったため活動が縮小した。	通年 随時	2
おやこで着衣泳～水難事故から身を守る～	「着衣水泳」を体験し、水難事故から身を守る術を身につけてもらう機会とした。	9月 1回	23
家族でドミノチャレンジ!	ドミノ倒しを通して、創造力や集中力を養った。また、親子で共通の目標を持つことで、課題解決のためお互いに尊重し、協力することの大切さに気づききっかけとした。	11月 1回	8
水遊び大会	家庭や学校では体験することのない、全身がずぶ濡れになるほどの水を掛け合う遊び場を提供する。また、遊びを通じて新たな仲間づくりを図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 7月 1回	
水鉄砲フェスティバル～作って遊ぼう!～	水鉄砲づくりを通して、ものづくりの楽しさを味わい、技巧性を高めた。また、水鉄砲あそびを通して、健全性や公平性を学んだ。	7月 1回	17
レクリエーションインストラクター養成講座	地域や職場で社会活動や奉仕活動を行うにあたり、レクリエーションインストラクターとして実践していくための知識や技術を学んだ。	7月～2月 全11回	43

青少年センター50周年記念事業「センターまつり」	各種体験コーナー、発表会、出店等による(文化)祭を実施し、地域に根差した施設を目指すと同時に文化・情報の発信地としての機能をセンターが担い、参加者に楽しい一日を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 11月 1回	
施設利用促進事業	幅広い層への広報活動を展開していくことで、新規利用者の確保と定着を図るとともに、協会各施設と連携した活動をさらに強化し、幅広い青少年の健全育成を図った。	通年	
運動塾～めざせ体育のヒーロー～	子どもやその保護者が、各スポーツの専門の指導者から学ぶことで、運動する楽しさやそのスポーツの魅力を知る機会とし、継続的な運動習慣の定着を目指す予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 12月 2月 3月	
コンサルテーション・ビューロー事業	ニート、ひきこもりを含む若者無業者を中心に、様々な悩みを聞き、解消するための支援を行うとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行った。	通年	216
青少年・青少年育成功労者等表彰事業	青少年健全育成の一層の促進を図るため、「青少年の非行・被害防止県民大会」の会場において、善行青少年及び青少年健全育成功労者等を表彰する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため県民大会は中止となったが、表彰式のみ行った。	随時	6
白ポスト事業	青少年にとって有害な図書等の回収のため、JR 駅等に設置した白ポストの維持管理を行った。	通年 随時	

青少年センター自主事業実施状況

(単位 人)

事業名	主な内容	実施時期・回数	参加者数
(共催) 甲斐児わいわい紀行	長期にわたる共同生活の中で、日常生活では体験できない諸々の活動を仲間と協力しながら取り組むことで、「信頼・協力・協調・規律」などの意味を実感し、主体的に行動できる能力を身につける予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 8月 1回(4泊5日)	
グラウンド・ゴルフ大会	グラウンド・ゴルフの愛好者に活動の場を提供するとともに、参加者同士の親睦を深め、仲間づくりを進める。また、グラウンド・ゴルフの普及振興を図り、健康づくりに寄与することを目的に実施。1回目は10月に実施したが、2回目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	1回目:10月実施 2回目:中止	44
甲運小学校区放課後子供教室	甲運小学校を会場として、青少年協会職員と甲府市教育委員会の指導のもと、小学生の放課後の居場所や各種体験・学習の場とした。 (青少年協会、甲府市教育委員会連携事業)	7月～3月 全8回	226
学習スペース提供事業	自宅に学習環境の確保が困難な中学生・高校生に自主学習の場を提供した。	通年	9
備品貸し出しサービス	スポーツ用具を持参しない利用者に、有料で用具を貸し出し、その収入を必要備品のメンテナンスと更新(購入)に充てることで、備品の状	通年	

	態・数量を常に良好に保ち、利用者の利便を図った。		
利用者支援サービス	本館、リバース和戸館の利用者へコピーの対応をし、利用者に対する利便性の向上を図った。	通年	

青少年センター自主事業実施状況(青少年育成山梨県民会議事業)

(単位 人)

事業名	主な内容	実施時期・回数	参加者数
「あいさつ・声かけ運動」市町村民会議等普及事業	「あいさつ・声かけ運動」を全県的に展開するため、各市町村への働きかけを行うとともに、街頭キャンペーンを行い、「あいさつ・声かけ運動」を推進した。	通年 随時	
中高生のネット・ワークショップ	青少年同士が「インターネット利用の問題」や「安心・安全なネット社会」等をテーマに意見交換や討論を行うことで、インターネットの適切な使い方について理解を深めることを目的に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とした。また、インターネットに係るリーフレットを県内中学生に配布し、広く啓発を図った。	中止 6月 1回	
「家庭の日」「青少年を育む日」推進運動事業	「大人が変われば子どもも変わる」をテーマに、大人自身の姿勢や大人社会のあり方を省みるきっかけとなるような啓発事業を行った。	通年 随時	
親子ふれあい事業「親育ちプロジェクト～大人が変われば子どもも変わる～」	子育ての不安や悩みを解消し、親が自信をもってわが子に向き合い、子育ての楽しさを実感するとともに、子育ての楽しさを広める活動を推進する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 12月 1回	
青少年関係 NPO 法人等ネットワーク事業	関係諸団体をつなぐ「ツール」として、新設したメーリングリストを活用し、青少年育成関係団体等における情報の共有化を図るとともに、各青少年団体から寄せられた情報等を広く県民に発信した。	通年 随時	
子ども・若者支援フォーラム「繋がろう！山梨のおとなたち 話そう！子どもの明るい未来を」	「繋がろう！山梨のおとなたち 話そう！子どもの明るい未来を」TSU・NA・GU～家庭・学校・地域・行政の連携で希望ある未来をつくろう～をメインテーマに「子ども・若者支援フォーラム」を実施した。	1月 1回	26
管理運営(3事業)	県民会議事務局の運営及び事業の円滑な実施を図るため、ホームページによる情報提供や広報車の管理等を行った。	通年 随時	
少年の主張山梨県大会	県内の中学生に、広い視野と柔軟な発想や創造性を育むきっかけとするとともに、物事を理論的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を身につける機会とした。また、「少年の主張山梨県大会」において、「全国大会」へ推薦する山梨県代表者を決定した。	8月 県大会 11月 全国大会	34

## 2 県立愛宕山こどもの国・少年自然の家管理運営事業

甲府駅からも近く、子どもたちがのびのびと遊べる安全で楽しい遊び場の確保に努めるとともに、緑豊かな里山の自然の良さを感じながら子どもからお年寄りまで、施設を利用するすべての方々が快適に利用できるための環境づくりに努めた。

また、こどもの国園内にある少年自然の家では、コロナ禍ではあったが、集団宿泊体験学習を中心に、できる範囲の中で家庭や学校生活を離れた自然体験活動の支援と普及に努めた。

こどもの国 施設利用者 114,958 人(前年度 201,065 人)

少年自然の家 施設利用者 2,470 人(前年度 12,889 人)

### (1)利用者が安心して、快適に利用できる環境整備、施設管理

毎日行方、朝、夕の定時巡回では、危険箇所の早期発見に努め、危険箇所が見つければ、職員が対応するものと専門業者に依頼して対応するものとに区分して、迅速な施設保守を行い、遊歩道沿いの倒木撤去や植物の保護に努めることで人が入ることができる里山の環境整備を行った。

また、利用団体が行うプログラムの実施前点検と活動中の巡回を徹底することで、安心安全な施設運営に努め、さらに新規プログラムの開発に努めることで利用満足度の増加を図った。

さらに、人出が予想される休日やイベント開催時には、利用者が安心して活動できるように職員を配置することに加え、アルバイトを配置し、安全に配慮した運営を行った。

### (2)地域、ボランティアとの積極的な関わりと定着及び地域に根差した運営

県内の大学に通う学生や社会人ボランティアの方には、子ども対象事業のスタッフとして子ども達の活動をサポートしていただき、一般の奉仕団体には山中の倒木伐採や下草刈り作業等の環境整備にご協力いただいた。

### (3)積極的な広報活動

県内のこども園や保育所、小学校には各種イベントの対象年齢に合わせたイベント情報チラシを送付するとともに、ホームページによる宿泊室の空き状況の案内やSNSを活用したイベント情報の発信を行った。

### (4)主催事業の充実

豊かな自然環境を生かした自然体験活動や野外活動などを通して、青少年の健全育成を図るとともに、幼児とその保護者を対象とした子育て応援事業や子どもと他の世代との交流を図る事業など、こどもの成長に応じた切れ目のない支援に重点を置いて実施した。また、関係機関と連携した事業、地域、ボランティアと協働した事業を実施した。

## 愛宕山こどもの国主催事業実施状況

(単位 人)

事業名	主な内容	実施時期・回数	参加者数
自然保育サポート事業	こどもの国の豊かな自然環境を活かし、五感を使って身近な自然を感じ、味わい、その美しさや不思議さに気づく機会を提供することで、社会生活を送るうえで大切な「生きる力」である生命の尊重、健康な心と体、自立心、豊かな感性と表現など大切な資質を育むとともに、幼児期の自然体験活動の支援を行った。	9月～3月 15回 1回 ※感染防止対策のため開催を4月から9月に延期して実施	620
愛宕山こどもフェスティバル	ゴールデンウィークに工作や遊びなどの体験を通して、家族の絆を深めてもらうことを目的にした事業であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時閉園措置期間のため開催中止とした。	中止 5月 1回	

親子で出発！わくわく里山たんけん (子育て応援事業)	紅葉の中を親子で散歩しながら、どんぐりや松ぼっくりなどを集め、それらを使ったクラフトを作ることで、自然を感じ、季節の移り変わりを体感した。冬は親子で味噌づくりに挑戦しながら、大豆の味や香りを感じ、「混ぜる」「こねる」などの作業で素材の変化に触れるなど五感を使い、楽しみながら、食に対する興味を持つ機会となった。	5月 中止 10月 実施 1月 実施 2回 実施 ※感染症対策のため5月は中止	54
自然をいっぱい吸い込もう！里山でリフレッシュ (子育て応援事業)	育児に追われる親たちがその日常からひととき離れ、自然の中で骨盤底筋体操を行い、リフレッシュとリラクゼーション効果を与えることができた。同じ子育て中の親同士にとって貴重な交流場となった。	10月 1回 ※感染防止対策のため5月から10月に延期して開催	6
ママが喜ぶ幸せのレシピ！ (子育て応援事業)	普段忙しく、子どもとのふれあいの時間がなかなか取れない父親とその子どもを対象に、簡単な軽食とお菓子づくりを行なった。親子が一緒に楽しみながら協力することで、父親には家事や育児への関心を、子どもには料理をする喜びや食に関する興味を高めることが出来た。	2月 1回 ※感染防止対策のため6月から2月に延期して開催	14
ファミリーサマーキャンプ	自然の家での宿泊や家族で協力して野外炊事や焚き火台作りなど普段とは違う活動を通して、家族の絆を深める機会となった。	8月 1回(1泊2日) テント泊ではなく、自然の家泊に変更して実施	47
幼児向け自然体験活動指導者研修会	幼児教育に携わる指導者や学生を対象に、幼児期における自然体験活動の重要性や効果的な実践プログラム、安全管理の考え方を学ぶ機会を提供した。実践編では愛宕山の自然を活かした幼児向けネイチャーゲームやクラフトづくりなどを行った。	8月 1回	11
ライオンの池活用事業	年間を通してライオンの池を活用した様々なイベント(幼児用手漕ぎボートや落ち葉のプール等)を行なう事業だが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とした。	中止 4月～6月 9月～12月 3月	
あたごやまイベントフィールド 365	プロ演者による『バルーンショー』を開催したことで、家族で過ごした楽しい思い出と感動を共有する機会となった。また、自由広場周辺のチェックポイントを巡る「フィールドラリー」には、気軽に参加してもらい家族で楽しい時間を過ごしていた。 ※たき火を楽しもうは雨天のため中止とした。 ※自由広場で実施する季節にちなんだクラフトづくりや落ち葉焚き、昔遊び(竹馬、コマ回し)などは新型コロナ感染防止のため開催中止とした。	10月～3月	328
愛宕山ボランティアバンク	こどもの国園内の清掃作業を行ってもらうことで、こどもの国を支援していただいた。	4月～3月	52
広報事業	こどもの国で実施するイベントのチラシや施設案内、事業一覧を作成し、広域的に情報を発信した。	4月～3月	



## 愛宕山こどもの国自主事業実施状況

(単位 人)

事業名	主な内容	実施時期・回数	参加者数
あたごやま秋祭り	飲食ブースや縁日屋台などを出店し、里山の秋を感じながら家族で楽しめる場を提供することで、家族の絆を深め、子育ての喜びを感じてもらおう事業だが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とした。	中止 10月 1回	
愛宕山で初日の出を見よう!	元旦にこどもの国入口ゲートを開放し、展望テラスや自由広場等で初日の出を楽しんでもらおう事業だが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とした。	中止 1月 1回	
里山再生事業	事業参加者とともに、園内の遊歩道を中心とした木々の枝打ちや立ち枯れした樹木の伐採等の整備を行った。また、伐採した枝等は野外炊事用の薪として有効活用した。	4月～3月	
甲運小学校区放課後子供教室	甲運小学校を会場として、当協会職員と甲府市教育委員会の指導のもと、小学生の放課後の居場所や各種体験及び学習の場とした。(青少年協会、甲府市教育委員会連携事業)	7月～3月 全8回	226

## 愛宕山少年自然の家主催事業実施状況

(単位 人)

事業名	主な内容	実施時期・回数	参加者数
あたごやま自然観察会 (春・夏・秋・冬)	四季折々の自然を観察した。 ＜春＞新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時閉園措置のため開催中止とした。 ＜夏＞セミの羽化や、樹液に集まる昆虫の観察を行なった。感染拡大防止対策として宿泊事業を日帰りを実施した。 ＜秋＞日中と夜にそれぞれ自然観察を行い、昼と夜に活動する生き物の違いを学んだ。 ＜冬＞昆虫の冬眠の様子や木の実の中身の観察を行なった。	4月 中止 7月 実施 9月 実施 2月 実施 全3回 ※4月は感染防止対策のため開催中止	91
森っこ集まれ! ネイチャーDay	小学校3、4年生を対象とした事業で、親元を離れ、普段とは違う友達との集団活動の中で、自主性や協調性を育み、社会性を身につけることを目的とし、仲間づくりゲームやネイチャーゲームなどを行なった。活動を通して自然に触れ、仲間との協力や興味関心を共有する姿が多く見られた。	11月 1回 ※感染防止対策のため1泊2日を日帰りに変更して開催	20
ほっこりふわふわCA RINOデイ (子育て応援事業)	参加した年長児と小学1年生には、集団活動を通して保幼小の接続期の遊びから学びへ向かう姿勢を育んでもらい、保護者には、小学校教諭を招いた座談会などに参加してもらおうなど、親子別々の活動を行いながら、子育てについて振り返る機会とした。	9月 1回	24
森の中の1デイキャンプ	ネイチャーゲームやネイチャークラフト活動では、身近な里山の自然に触れることで、自然への興味・関心を深めた。また、集団活動をとおして自主性や自立性、仲間と協力し合う大切さを学んでもらった。	12月 1回(日帰り) ※感染防止対策のため、5月から12月に延期し、宿泊ではなく日帰りを実施	30

つる 蔓取物語 ～里山を守ってリー スをつくろう～ (里山再生事業)	自然の家周辺の木に絡まるツルの特徴やそれを撤去することで森林の光環境を改善することを学ぶとともに、撤去したツルと拾った木の実等を使ってリース作りを楽しんだ。	11月 1回	25
つくってみるじゃん 正月飾り～世代を超 えて伝えたい～(異世 代交流事業)	しめ縄飾りづくりを通して協力いただいた近隣の神社の方々と参加者との世代を超えた交流を図った。	12月 1回	24
職場体験・インター シップ受入事業	県立愛宕山少年自然の家・こどもの国における実習をおとして、青少年の健全育成に対する理解を深めるとともに、教育事業や日常の研修支援などの業務を体験してもらう予定だったが、残念ながら参加いただけなかったため、今後は参加していただけるように実施内容などについて分析と検討を図る。	4月～3月	0
広報事業	施設利用者の増加を図るため、自然の家イベントチラシや宿泊利用、施設案内を広報した。	4月～3月	

### 愛宕山少年自然の家自主事業実施状況

(単位 人)

事業名	主な内容	実施時期・回数	参加者数
(連携) 甲斐児わいわい紀行	長期にわたる共同生活の中で、日常生活では体験できない諸々の活動を仲間と協力しながら取り組むことで、「信頼・協力・協調・規律」などの意味を実感し、主体的に行動できる能力を身につける予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 8月 1回(4泊5日)	
あたごやま親子陶芸 教室	陶芸初心者の親子や一般の方を対象に、基本的な陶芸の知識や技術を身につけながら、作る楽しさや喜びを感じてもらった。	11月～3月 全3回	71
自然の家ファミリーウ ィーク	家族で自然の家に宿泊できる機会として実施した。昼間はバルーンショーを楽しみ、夜は台風接近のため、大ホールでけん玉やこま回しを体験し、愛宕山少年自然の家の活動に理解を深めてもらった。	10月 1回(1泊2日)	23 (7家族)
利用者支援事業(クラ フト)	自然の家を利用する団体にクラフトづくりなどの活動プログラムの体験してもらった。	4月～3月	

### 3 県立八ヶ岳少年自然の家管理運営事業

八ヶ岳少年自然の家では、集団生活の中で自主的・自発的に行動する能力を身につけ、自律・協同・友愛・奉仕の精神を養うことを目的とした「少年団体の活動の場」として、感染症対策を含め利用者も指導者も安心して安全な活動ができる支援を業務目標の中心として施設運営を行った。

施設利用者 14,621人 (前年度 37,282人)

#### (1) 利用者の安心・安全の確保

- ① 職員による毎日の巡回業務および月一回の施設点検により、利用者が安心・安全に活動できる環境づくりにつとめた。
- ② 特に「樹木の立ち枯れ」や「倒木」については、早急に撤去作業を行なった。

#### (2) 広報活動の充実強化

- ① 近隣の同様施設の閉鎖が決まったため、その関係市町村に案内を発送した。(羽村市教育委員会他11市町村教育委員会)

- ② 利用者に必要な情報を分かり易くホームページに掲載し、定期的に更新を行った。  
 また、Twitter や Facebook などの SNS を活用し、当自然の家における事業について広く周知を図った。また、ホームページをリニューアルし、事前学習に取り入れられる動画やコロナ禍でも自然の中で親子で取り組める動画を提供した。

### (3) 主催事業の充実

施設の設置目的を重視し、自然環境に恵まれた施設の特性を生かした中で、主催・自主事業を年間26事業実施する予定であったが、新型コロナウイルス対策として多くの学校が9月以降に利用を変更したため、例年は閑散期対策として9月以降に行っていた宿泊の事業は実施を見合わせ、感染拡大予防ガイドラインに沿って感染状況を見極めつつ宿泊を伴わない9事業を実施した。

八ヶ岳少年自然の家主催事業実施状況

(単位 人)

事業名	主な内容	実施時期・回数	参加者数
八ヶ岳利用者研修会	利用予定団体の引率者を対象に、利用時の野外活動の意義と活動プログラム作成や指導に必要な知識や技術を具体的に体験してもらう研修会を実施した。	6月 全8回	36
地域環境美化事業	地域住民(朝日ヶ丘班)と連携し、自然の家の玄関口である「牧場通り」の除草作業や花壇の花植えを行い、地域住民との関係を深めるとともに、周辺環境の美化に努めた。	7月 1回	70
八ヶ岳少年自然の家の思い出を描く作品展	雄大な八ヶ岳高原の大自然の中で活動した思い出を子どもたちが自由に絵画で表現することにより、自然の家や自然環境への興味・関心を一層高めることができた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、時期を延ばして募集し、審査会を行ったが、表彰式は中止とした。	募集:10月1日～ 1月15日 審査会:1月20日 表彰式:3月7日 (表彰式のみ中止)	1,005
イクメンの日記念事業 秋の親子キャンプ	秋の森を親子で楽しみながら散策したり、野外炊事などの共同作業を予定していたが、新型コロナウイルス対策として、自然の中で思い切り体を動かす機会を提供し、親子で自然の中で取り組めるエクササイズを実施し、その内容を動画でホームページに掲載した。	11月 1回	13
利用者との意見交換会	利用団体からの代表者に、利用者アンケートとは別に「当施設をお使いいただける理由」や「自然の家に求めること」といったテーマで意見交換する機会を今年度は対面ではなく書面で設け、今後の自然の家のあり方などについての様々な意見をいただいた。	1月～2月 1回	17
八ヶ岳星空観望会	光害の影響が少ない八ヶ岳において、家族で星を見つけ、果てしない宇宙を題材に会話を楽しみ、自然現象に関する知識を学び、天文について関心を高める機会とした。また、新型コロナウイルス対策として、インターネットでの星空ライブ配信も実施した。	11月、12月、2月 5回	86 (配信視聴 1,485回: 3/31時点)
KIYOSATO ボランティア隊	指導補助者や協力者として活躍の場を提供することで子どもたちとのふれあいを通じてボランティアの資質を高められた。	通年 3回	8
自然の家ファミリーデー	自然の家での野外炊事や冒険ハイク等の活動プログラムを家族で体験してもらう予定であったが新型コロナウイルス感染症対策のため県からの要請により休所となったため中止となった。	中止 5月3日～6日 1回	

八ヶ岳ファミリーウィーク	自然の家での宿泊体験を通じ、家族間のコミュニケーションを深める機会とする予定であったが新型コロナウイルス感染症対策のため県からの要請により休所となったため中止となった。	中止 5月3日～6日 1回	
テントに泊まろう！	テント設営からを家族で行う中で、テント生活や野外炊事等を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 6月、7月 全2回(1泊2日)	
八ヶ岳フレンドリーキャンプ	県内の不登校児適応指導教室に通所する児童・生徒を対象に、自然体験活動の場を提供する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 7月 1回(1泊2日)	
バンビキャンプ	幼児とその保護者を対象に、それぞれ別々のプログラムとし、親子の関わりを見つめ直す機会として予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 9月 1回(1泊2日)	
地域連携事業 「北杜市放課後子どもクラブ」	北杜市教育委員会と連携し、北杜市が実施している放課後子ども教室に職員を派遣し、レクリエーション指導と工作指導を行う予定であったが、北杜市教育委員会より職員派遣の取りやめの申し出があったため中止となった。	中止 9月～2月 全6回	
地域交流事業	地域住民と交流を図り、自然の家への理解と利用の促進を図る目的で、地域の皆様との交流が進める機会として予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 9月 1回	
オータムキャンプ	集団生活や自然体験、様々な活動を通し、仲間と協力する楽しさを知る機会として予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 10月 1回(1泊2日)	
やつがたけタイニーキャンプ	小学校低学年の子どもたちが、親元を離れた共同生活や自然体験、身体能力の向上に取り組む予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 10月～11月 1回(1泊2日)	
ファミリーチャレンジ	親子で昔あそびを通して家族間の絆を深め、伝承遊びや伝統行事を体験する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 1月 1回(1泊2日)	
ウィンターキャンプ	清里高原の寒さの中で、初めて出会う友達との集団宿泊体験をとおして、困難に立ち向かう活動を行うことで、子どもの忍耐力や協調性、自主性を養う機会とする予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 2月 1回(1泊2日)	

八ヶ岳少年自然の家自主事業実施状況

(単位 人)

事業名	主な内容	実施時期・回数	参加者数
(連携) 甲斐児わいわい紀行	長期にわたる共同生活の中で、日常生活では体験できない諸々の活動を仲間と協力しながら取り組むことで、「信頼・協力・協調・規律」などの意味を実感し、主体的に行動できる能力を身につける予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 8月 1回(4泊5日)	
(共催)甲運小学校区 放課後子供教室	甲運小学校を会場として、青少年協会職員と甲府市教育委員会の指導のもと、小学生の放課後の居場所や各種体験・学習の場とした。 (青少年協会、甲府市教育委員会連携事業)	7月～3月 全8回	226

施設活性化事業	地元の外部団体や、専門知識を有する地元の人材発掘や協同プロジェクトの実施をとおり、施設の魅力や利用者のニーズに応える予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施に至らなかった。	8月	
外部団体・講師紹介事業	青少年健全育成活動の分野において専門的知識及び経験を有する方々を登録し、青少年健全育成活動に取り組む各種団体に対して、講師等として紹介する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施に至らなかった。	通年	
青少年教育施設連携交流事業	関連施設の実施する事業への職員を派遣し、当自然の家のブースを設け、利用促進のための広報活動とクラフト指導などを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施に至らなかった。	通年	
自然の家で遊ぼう！	閑散期における利用率向上を図ることを目的に、家族で自然の家を利用してもらう予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 12月～3月	
自然の家に泊まろう！	学校利用が少ない冬季における利用拡大を図ることを目的に、活動プログラムを体験してもらい、自然の家への理解を深めてもらう予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	中止 12月～3月 (1泊2日)	
利用者支援事業(クラフト)	施設利用者を対象に体験活動に要する資材を提供することで、利用者サービスの向上を図った。	4月～3月	

### Ⅲ 収益事業会計 利用者支援サービス事業

サービスの向上と満足度を高めるため、安定した経営資源確保のため、外部団体との提携により魅力ある自主事業を定期的にも実施し、施設の利用率向上と収入確保を図った。

(単位 円)

事業名	主な内容	実施時期	経常収益
利用者支援サービス	自動販売機による飲料水の販売等を行った。	4月～3月	1,948,179
プラネタリウム番組配給事業	オリジナル番組を他館へ配給した。	4月～3月	325,524
外部団体提携事業	外部団体と提携し、専門インストラクタ指導による講座を実施し、県民サービスと利用の拡大を目指した。	4月～3月	310,992

